

令和3年度 四万十町立図書館協議会・美術館運営審議会合同会議録（要旨）

日 時 令和3年9月1日（水） 午前10時～12時  
場 所 四万十町役場本庁（東庁舎）2階 町民活動支援室

出席委員 竹村君子、金子仁、武内文治、山本哲資、中屋定子  
欠席委員 刈谷明子、久保田徳雄、高垣恵一、森下嘉晴、杉浦妙子  
事務局 山脇光章教育長  
生涯学習課課長兼図書館館長・林瑞穂、主幹兼図書館副館長・宮本美智、  
長木千葉美、武内真紀、川上波音  
推進室 大元学政策監、大河原信子室長、西尾洋亮主査、河原一郎主任、松下理恵主任

－議題－

議題① 文化的施設サービス計画に関する説明及び意見交換

【文化的施設整備推進室より】

- ・文化的施設整備事業についてこれまでの取り組み、今後の主な予定について説明
- ・意見公募の結果について説明

【質疑応答】

（竹村会長）

2 ページの町内（町民等）の動きについて、陳情書が提出されていますが15名の議員の中、採択6、不採択9ということで、人数的にかなり均衡した状態で不採択となったと思います。陳情書採択派6名の意見をばっさり切ってしまうと、これからの町民の方々の協力度などに影響が出てくると思います。今後、事業を円滑に進めるために、陳情書採択派の方の意見など何か取り込んだものはあったのでしょうか。

（推進室）

陳情については、見直しを求めた4項目の内容でございました。建設予定地の見直し、現図書館、美術館を活用することの提案、十和への分館設置等のご意見がございました。十和分館に関しましては、基本計画の中にも明記されておりまして、町の方針としましても今後3年のうちには設置をしていくと方針を固めています。建設予定地については、令和元年9月に町長からの行政報告として旧役場跡地にすることを表明を行ったうえで事業を進めています。議長を除いて15名の議員の中で、6名の議員が陳情を採択する意見であるということは重く受け止めており、ご理解いただけるように9月議会等でしっかりとご説明を行って、ご協力いただけるように進めていきたいと思っております。

（竹村会長）

説明資料中に用地買収とありますが、旧役場跡地は町有地ではないのですか。

(推進室)

基本的には町有地ですが、意見公募手続資料 18 ページに、アプローチ棟と記入しております進入路の部分、横に民家、民家を壊した土地があると思います。工事車両通行やアプローチ棟の建設予定地として購入予定で、現在地権者の方と協議しております。

(竹村会長)

道自体が広がるのですか。

(推進室)

道自体は広くなりません。買収部分はアプローチ棟になりますので、人が出入りする時に使用するようになります。駐車場側と半平側と 3ヶ所から入っていただくようになります。

【文化的施設整備推進室より】

- ・サービス計画（素案）について説明

【質疑応答】

(武内委員)

盛りだくさんのサービス計画で運営する側は大変であると思います。

土佐清水市以布利に、弘田之彦さんという方が経営している笹岡文庫というところがあり、図書やお遍路さんの宿泊施設を行っています。先日訪ねてきたが、図書そのものに物語があり非常に感銘を受けました。町が行政としてがんばっていこうという意欲はわかりますが、個々の小さい図書室をどう活かしていくかも大切ではないかと思えます。特異な分野の図書やその発表を様々な場所で行うことができるように育て、コーディネートし、つなげるという役割が新文化的施設にはあり、そのような工夫を行うことで議会にも認めてもらえるようになると思います。そのような工夫は建設前にも出来ることかなと思えますので、サービス計画の中で実行してほしい。

(林館長)

資料の収集と活用方法のご意見ですが、新文化的施設の蔵書構成をどうするかは今後考えなければならぬと思っております。特色のある図書構成、選書や他の図書館等にも貸せるような選書をしたい。大正分館にはかなりマニアックな本の構成もあるので、どんどん紹介したいと思っております。オーテピアとの連携は大切にしていきたいと考えています。

(推進室)

サービス計画については、施設が建設されてからというイメージがあるかもしれませんが、開館前にできることもたくさんあると思っておりますので、そういったご提案についてはやれることはしっかりとやっていきたいと思っております。

(山本委員)

サービス計画の 21 ページに「職員の資質向上を図るため、司書や学芸員の資格取得や研修参加等

を奨励します」とありますが、オープンしてからでは遅いと思うので今から進めていただきたい。

(林館長)

以前より運営審議会から意見として出ておりました、専門性をもった職員の配置については大きな課題であると思っています。ランニングコストの問題もあるので、町職員の人員配置も含め考えていきたいと思っています。

(推進室)

今回実施した意見公募でも同様に、「専門的職員の採用は人材確保も大変だけど、開館時からの採用ではなくできるだけ早い段階で」という人材の確保についてのご意見も寄せられております。そういったところは内部でも協議し、早めに対応したいと考えております。

(竹村会長)

サービス計画等説明資料 10 ページの展示機能のところ、「四万十の歴史を感じさせるストーリーを持った歴史資料の常設展示を行います」という記載がありますが、四万十川という四万十町の宝である重要な地誌の部分、ジオの部分抜け落ちてしまっているの、この部分はジオと歴史という文化的景観の文言を入れていただきたいと思っています。

図書、美術の企画運営の計画をきっちりして、1年計画あるいは複数年の計画を立てていくのはどうでしょうか。

先ほど武内委員のお話しにあった笹岡さんのお母様、笹岡久明さんの美術作品もたくさん寄贈されていると思います。そういった地域の生んだ文化人、四万十町のことをよく知っている方を雇用してほしいと思います。福島県大熊町は立派な建物、道路がたくさんありますが、ランニングコストがまかなえないために町が破産状態で町長のお給料が支払えていないという新聞記事を読んだことがあります。四万十町の新文化的施設のランニングコストは増えていく一方であると思うので、大丈夫かなと心配しています。

(推進室)

意見公募手続説明資料 28 ページには県内外の図書館との比較ということで、他市町村の年間運営経費などランニングコストを掲載していますが、一定ランニングコストはどうしてもかかってきます。しっかりと計画を立てて実施していき、財源的に活用可能なものは活用したいと考えています。移動図書館については過疎債等を活用し、町単独の負担のみにならないようにしたいと考えております。

(推進室)

マンパワーは非常に重要な課題で、あれもこれもとってしまうと、ひとつひとつの取り組みが希薄になってしまうのではないかという懸念はわかります。武内委員からもお話しがありましたように、できるだけ地元の方々にも参加をしてもらい一緒になってやっていけたらと思っています。地元の方のほうがより詳しくたり、人脈があったりだとか繋いでいくという部分で活発な活動ができればいいなと考えています。

(林館長)

四万十川は国から文化的景観として選定されておりまして、専門家である方からも新文化的施設で、文化的景観を紹介できるようなコーナーを設けてほしいという要望をいただいております。生涯学習課としても文化的景観ということだけではなく、四万十川の過去、現在、未来といったテーマ性をもった展示の検討をしたいと考えております。

先ほどの、笹岡久明さんの絵画作品については28点収蔵しております。現在収蔵している美術品については、収蔵するだけではなく活用していきたいと考えておりまして、まちじゅう美術館というかたちで、四万十町のあらゆる所で展示をしていきたいと準備を進めているところです。

(山本委員)

小、中、高校生が、新文化的施設にどれぐらい来館するのが一番の心配です。現在の美術館では年に数十名しか来ておりません。それをどう思われますか。

(推進室)

若者が集まりやすい場所づくりを行うために、ティーンズコーナーを設け、友達とわいわいしてもよい場所を施設内につくるようにしています。クッション等を置くなどして、居心地のよい場所にしてほしいという意見が意見公募でもあったので、そのようなご意見も活かしていきたいと思っています。

移動図書館車、団体貸出等学校との連携をさらに強化することで、全体としての交流を深めたいと考えています。一朝一夕にはできないと思いますが、日々の積み重ねの中でそういった居心地のよい場所、いてもいい場所としてつくっていききたいと思っております。

(林館長)

過去には中高生を集めてワークショップを行ったこともありますが、その中で出ていた意見としては、中高生が集まれる場所が町内にはないというものがありません。Wi-Fiの環境整備等を行い中高生が居心地のよい場所と認識することで、自ずと人は集まってくるのではないかと考えています。

演劇サークルが「ものづくりや演劇ワークショップに興味がありますか」というアンケートを行ったところ、興味があるという意見が思った以上に多かったので、そういった仕掛けも実施していきたいと思っております。複合施設の強みを活かして、みんなの集まれる場所にしていきたいと考えています。

(山本委員)

学校現場は忙しいので、そういった状況も考慮したうえで生徒が集まれる場所をつくってほしい。

梶原の図書館は周りを芝生で囲っており、それを四万十町役場の担当者に伝えたところ、芝生は新文化的施設にもあると言われたのですが、芝生の内容が違うことを分かっていないのがっかりしています。広場とは何か、芝生の上で鬼ごっこができる環境というのはどういったことか、大きい木を移植するなど、精神的にゆとりのある施設をつくっていただきたいと思っております。

(推進室)

今の子どもは意外と行動力があり、興味のある場所であれば遠距離でも自転車で移動します。いか

に子どもの興味をもてるような施設づくりをするか、興味をもてる取り組みができるかということが重要ではないかと思っています。

(山本委員)

緑林公園は子どもがたくさん集まっているので、それを参考にしたらよいと思います。  
人材確保、学芸員を育てることにお金を使った方がいいと思います。

(武内委員)

現在の窪川四万十会館は、多目的室が1室しかなく使い勝手が悪い。これは窪川町時代に、議会が会議室を削った結果だと思っています。緑林公園に窪川四万十会館との融合的な施設ができればいいなと期待していました。現在の建設地もいいですが、生涯学習施設として窪川四万十会館との連携、活用も考えてほしいと思います。

(林館長)

窪川四万十会館やふるさと未来館を上手に活用することは課題であるので、そういった施設をつないで面にしていくようなイメージで、四万十町全体が活性化できるような仕組みづくりをしていきたいと思っています。

(武内委員)

サービスにきちんとお金をかけてやっていくことを、もっと主張するべきではないかと思っています。さまざまな取り組みを行うにあたり、説明資料にある人件費の試算値で本当にやっていけるのかが疑問に思います。もう少し理解しやすい説明が欲しいです。

(林館長)

人員配置については正職員を配置することがベストではありますが、生涯学習課には文化を担当する職員がいるので、学芸員をもった職員を採用、生涯学習課文化担当に配置し、文化的施設の仕事にも従事してもらう等の人員配置の工夫も行うことができると思います。人員配置の部分については書ききれていない部分がありますが、人員配置の工夫等により解決したいと考えているのでご理解いただきたいと思います。

(推進室)

企画課の中に文化的施設整備推進室というものが4月にでき、まちづくり推進室も今年度より文化的施設整備事業に従事しています。文化的施設整備推進室等で対応できない部分については、まちづくり推進室で関わり、仕掛けることが求められていると思います。町長も現時点でまちづくり推進室は残すべきという考えがありますので、我々がしっかりと担っていかなくてはならない部分であると思っています。

(武内委員)

今でも図書館司書を配置していますが、会計任用職員です。雇用の不安を抱えながら、図書選定の自立や考え方を何で担保できるのかと疑問に思います。そのため、身分が安定した正職員の配置がよ

いと思っています。教育委員会部局は町長部局とは違う任用形態で、町長部局に文化的施設の事業が移った時に、そのようなことが担保できるのかが危惧するところです。サービス計画には具体的に書かれていないので、図書館協議の中で提言をしていきたいと思っています。

(推進室)

お知恵もいただきたいですし、ご提案もいただきたいと思っています。

(金子委員)

今、図書館で働いている現場の方の意見は、サービス計画等にどう反映されているのですか。

(推進室)

文化的施設整備を進めるにあたって、施設の建設等については文化的施設整備推進室がメインで従事していますが、サービス計画の内容を作成する部分については、図書館、美術館職員と一緒に進めています。昨年度は新しい施設を運営していくために、職員のスキルアップのトレーニングを重視しました。今年度に入りまして、サービス計画の中身に重きを置いて進めています。

(竹村会長)

サービス計画の中で環境、エコ、防災といった観点はどこに入っていますか。ソーラーはつけないのですか。

(推進室)

ソーラー発電の設置等のご意見はいただいておりますが、国の補助金事業等を活用しないと難しいところがあります。国の補助金等を活用することができる前提で、そういったものにも対応できる実施設計としたいと考えてはいますが、現段階では盛り込まれていません。国や県の方針に従い対応していきたいと考えております。

(林館長)

基本設計にあたっては自然光を活用する等配慮し、町産材を活用する等にも配慮していきたいと計画を進めているところです。防災については、防災として指定するのではなく災害があれば対応できるような施設にしたいと考えています。

(推進室)

一時避難所に指定するかどうかは今後、危機管理課と協議をする必要があります。文化的施設建設にあたっては ZEB（ゼロエネルギービルディング）という国の事業を導入できないか検討していましたが、経費が増えるという問題がありましたので、SDGs 等を活用し ZEB とは違ったかたちで調整できるものがないか実施計画、サービス計画の中で検討していきたいと考えております。

(竹村会長)

窪川小学校は避難所になっていますが、低地で水が出ますし、山が近いので町民はそこまで到達できないと思う。新文化的施設は避難所として考えていただければと思います。

(推進室)

防災面についても協議していきたいと考えております。

(林館長)

本日の説明等について、こういった方向性で進んでよいか本日お集りの皆さんに確認を行いたいと思っています。

(武内委員)

議会にはサービス計画の素案を出す予定があるのですか。

(推進室)

サービス計画素案については、議会全員協議会でお配りしています。9月議会予算では、サービス計画素案は出さないようにしています。ご意見をいただきながら内容が変更される可能性があるため、議案としての資料としては提出しないようにしています。

(武内委員)

図書館協議会、美術館運営審議会の中で十分に協議し、サービス計画に反映をさせる場がなかったと思うので、委員として責任のある発言ができる期間がほしい。阻止をするわけではないが、図書館協議会、美術館運営審議会に了解を得たということではなく、個人的にはもっと議論をしたいという意見とさせていただきます。

(林課長)

承知しました。こちらとしましては、一步一步確認をし、進んでいきたかったという主旨であるため、内容が充実してくれば確認をさせてほしいです。

(推進室)

方向性に大きなずれがないかだけは、確認をさせていただきたいです。

(竹村会長)

意見はさまざまでしたが、先ほど申し上げたとおりです。

閉会